



さわやか入間の風

令和8年

8月発行

発行者 西澤 泰男



『育てたように子は育つ(相田みつお)』

会長 西澤 泰男

ケヤキ並木の続く歩道では、先生方が竹ぼうきで丁寧に掃き集め、手際よくごみ袋に詰めていった。一方、道路では、自動車や自転車が途切れることなく行きかう、慌ただしい時間帯に突入していた。

門の少し手前では、親子が立ち止まって持ち物や制服の着こなしを楽しそうに確認しあい、気持ちをリセットしていた。受け入れの先生が遠目で見守りながらも知らないふりして、門までやって来る親子に次から次へと「おはようございます。今日も元気に過ごそうね。」などと笑顔を絶やさず迎え入れていた。子を預けた親は元気よく園の門をくぐっていく我が子を見送りながら、どこことなく手持ち無沙汰に戻っていった。



登園風景での、子供を真ん中に据えた先生と親との阿吽のやり取りから、信頼関係という教育の出発点が見え隠れしているように思えた。

かつてある卒園式で「僕はユーチューバーになります。」と将来の夢を発表した園児に、出席者からどよめきが上がったことを思い出した。まだその職業をほとんど理解できない時代であったから。今の園児たちも10数年後には、その時代に沿いつつも個性を開花し、社会に巣立っていくに違いない。

にぎやかな登園風景に接して、改めて幼児教育と義務教育の連携の大切さを感じるとともに、相田みつおさんの『育てたように子は育つ』の言葉をかみしめたのであった。

新築の入間市学校給食センター参観

～令和8年5月15日(金) 第1回役員研修会にて～



老朽化による給食センターの建て替え工事が今年2月に完了しました。今は秋からの始動に向け色々と準備を進めている状況とのことです。そんな新築ほやほやの給食センターを役員7名で参観させていただきました。新築された施設の主な特徴を紹介させていただくと、床は完全なドライ仕様、手洗いや消毒等では手を触れない自動式なのは勿論、調理員の体全体の埃などを取り除く個室式エアシャワーも備えていま

した。調理場には大型かつ最新ピカピカの調理器具が並んでいました。炊飯も米を投入すれば後は自動で炊飯される仕組みです。自動の揚げ物器もありました。また、調理器具・食器等の洗浄・消毒設備も機械化されていました。随所に作業の効率化や安全衛生への対策が取られていました。入間市が推進してきた「安心安全でおいしい給食」の進化バージョンを見させていただきました。新たな給食センターで調理された入間市自慢のおいしい給食を食べる生徒さん達の笑顔が思い浮かぶようでした。当日、忙しい中にも関わらず、私たちのために丁寧にご対応いただいた橋本給食課長様はじめ職員の皆様に心より感謝申し上げます。また、おいしい給食の試食までさせていただきありがとうございました。ごちそうさまでした。



『大いに交流！ 会員のページ』



☆人生を振り返って(出会い)

飯国 治

出雲市(島根県)を飛び出して半世紀

縁あって入間市立狭山小学校に着任したのが昭和 50 年 4 月。当時、埼玉県で教員生活を送るとは夢にも思いませんでした。

19 年間入間市でお世話になり、その後日高市、飯能市、入間市を転々と…。最後に校長として所沢市へ。平成 24 年 3 月末日 所沢市立北中小学校で定年退職を迎えました。私にとって縁も所縁も無かった埼玉で今現在を過ごすなんて不思議な縁でしかありません。自分の生い立ちから振り返ると、すべて偶然の縁で流れているように思いますが、その中で共通していることは、その時々のお世話になった方々との関わりです。

学校(職場)での出会い。生活の基盤となった地域の方々、その時々に関わっていただいた出会いが全てであったように思います。改めて全ての方々に感謝です。一步違えば全く違った人生を送ったことでしょう。今が最高の幸せと思いたいです。

☆地域の活動と共に

菅野 勉

豊岡第三区の副区長として五年が過ぎます。豊岡小学校に勤務した関係もあり、地域の方々との活動を続けています。春のお灯籠祭り、納涼夏祭り、万燈祭り、防災訓練、スポーツレクリエーション大会等々。自治会報の委員としても忙しい日々です。また、高校の頃より蒐集してきた千枚近くの人 JAZZ レコードや CD を聴いて楽しんでいます。



☆近況報告

榎本 操

退職後は、入間市教育センターで 5 年間お世話になり、現在は地元練馬区の小学校で、副校長の業務負担軽減を図る「副校長補佐」の仕事に、月 16 日間携わっています。時間にゆとりができたので、日常は、早朝の石神井公園散歩、週末はソフトボールのシニアチームでの練習・試合に汗を流しています。また、趣味の登山、休日のウォーキング、年数回の旅を通して、自然とふれあう生活を楽しんでいます。

